市川市議会議員かつまた竜大（りゅうだい）の活動報告

竜大通信

2018年春
（2月定例会）号
4月1日（日）
（通算41号）

2月定例会開催　新年度予算案に賛成

こんにちは、かつまた竜大です。２０１８年度予算案を審議する市議会２月定例会が開催されました。「新年度予算は市長不在の為、新規施策は難しく骨格予算にならざるを得ない」と言われていましたが、提出された内容は、一般会計は１，４４０億円と前年度比マイナス８億円、マイナス0.6％の減、特別会計と公営企業会計を合わせた全会計では２，３８３億２，５００万円と前年度比マイナス36億５，０００万円、マイナス1.5％の減という前例踏襲予算でした。

たとえ市長が不在であっても市民生活への影響は最小限に抑えることが必要です。新年度予算において、今まで継続的に取り組んできた実施計画事業等については「行財政運営の継続性」を確保した内容となっていました。ある程度は前例を踏襲した内容にしないと全国ワースト４と言われる待機児童問題をはじめとして市民生活に大きな影響が出ることは避けられません。昨年の議会報告に書きましたが「医療的ケアが必要とされる児童への対策」として約束された新規予算も確保されていること等から、かつまた竜大は今回の新年度予算案に賛成しました。

何れにせよ、４月22日に行われる市川市長選挙（再選挙）で社民党は村越ひろたみ氏を応援いたします。市議会は予算編成を行うことが出来ません。新しい市長の打ち出す施策に期待したいと思います。

外環道＆道の駅オープンフィールドinいちかわ

３月４日開催「外環道＆道の駅　オープンフィールドinいちかわ」に参加してきました。「工事区間を特別開放！」という宣伝に多くの市民が地上の国道部分と地下の専用道部分を歩かれていました。

当日のみ運行された貸切バスは常に満員状態で市川駅も本八幡駅もイベント参加者がかなり並んでいたそうです。その後の市議会で企画部長から当日入場者数が報告されましたが、なんと約３万人も来られたそうです。４月７日（土）オープンの道の駅いちかわは今回のイベントと同じように常に千客万来で繁盛してもらいたいものです。

2018年2月定例会　かつまた竜大の一般質問　3月14日（水）

東京外かく環状道路開通後の市内の交通状況について

(1)公共交通機関が受ける影響及び利便性向上に対する市の考えについて

【かつまた質問】

東京外かく環状道路（三郷南インターチェンジ～高谷ジャンクション間）、「外環道路」が今年の6月までに開通できる見通しとのこと、開通に至るまでには長年の歴史と出来事があった。外環道路が開通するとそれに伴い市川市内の道路交通状況には多くの変化が想定される。公共交通機関である路線バスやバスを利用する市民への影響及び利便性の向上について本市の考えを聞く。

【答弁要旨】

・主要な南北道路の渋滞緩和や、今まで市内を南北に移動するために一旦国道14号を利用していた交通が減少することによる東西方向の幹線道路の渋滞緩和等が想定される。

・市内道路の渋滞緩和により、路線バスでは定時制が向上し、時間通りに運行されることで利用者が増加することが期待され、利用されている市民の皆様にはバスの遅延などで迷惑をかけることが少なくなると考えている。

・外環道路の開通に伴う利便性の向上としては、同道路を活用した新たなバス路線についてバス事業者と協議している最中であり、バス事業者は「開通後の交通状況を見てから検討したい」とのことなので引き続き協議していく。

(2)自転車道の整備及びサイクル・アンド・ライドの導入に向けた考えについて

【かつまた質問】

バスの定時制が向上したことにより乗客数が増えるという事は、今まで駅へ自転車で行っていた市民の多くが自転車からバスに乗り換えたのだと考える。本八幡駅や市川駅の周辺にこれ以上駐輪場を増やすのは難しいと考える。大きな駅の周辺に駐輪場を作るのではなく、例えば外かん道に隣接する京成菅野駅に無料駐輪場を作って「サイクル・アンド・ライド」を推進するというアイデアを持っている。外環道路の自転車道を活用した「サイクル・アンド・ライド」の導入に向けた市の考えを聞く。

【答弁要旨】

・市では「市川市自転車走行空間ネットワーク整備計画」を策定しており、この計画に基づいた整備を進めている。外環道路の自転車道についても計画に位置付けられていて、南北を広域に移動できる自転車道が整備されることとなる。

・外環道路の自転車道を活用した「サイクル・アンド・ライド」であるが、本市では主要鉄道駅まで自転車やマイカーなどを利用し、そこから公共交通機関を利用される方々が多く、市街地に自転車や自動車が集中する傾向がある。それにより交通事故が発生する可能性も高くなると考えられる。

・集中による交通事故を防止するために、市街地への交通を分散させる上で、外環道路の自転車道を活用した「サイクル・アンド・ライド」は有効であると考えている。

・現在、国分バス停の隣接地に自転車置場を設置している。今後、菅野駅にも駐輪場を整備する計画を検討しており、道路事業者などと協議を進めている。

【かつまた　まとめと要望】

外環道路に関しては、開通してからの交通状況を調査した上で様々な問題を検討して欲しい。

これからの高齢社会においては公共交通機関を守り育てることが大事だと考えている。免許を返納する高齢者も増えていくので、今あるバス路線を守ることが大事である。因みに、京成バス高塚線（JR本八幡駅から松戸市高塚方面を結ぶ路線）は定時制が向上したことにより乗客数が増えているそうである。

※「サイクル・アンド・ライド」とは、自宅から最寄りの駅やバス停まで自転車で行き、駐輪場に停めて公共交通機関に乗り換えて目的地へ向かう方式のこと。

「かつまた竜大の後援会『竜大とぬくもり市政を創るみんなの会』は会員を募集しています。詳しくはかつまた竜大事務所までお問い合わせを」

かつまた竜大事務所

〒272-0023
市川市南八幡4-12-5-906
TEL　047-379-9203
FAX　047-379-9205
facebook：勝亦竜大
ツイッター：かつまた竜大（市川市議会議員）
@katsumataryudai
Eメール：ryudai_katsumata@yahoo.co.jp
ホームページ：http://www.ryudai.tv/

市川市議会議員
かつまた竜大

会派　民進・連合・社民 代表
総務委員会　副委員長
市川市総合計画審議会　委員